



体験から生き方を学ぶ 向陽のキャリア学習

向陽中では、10月末から11月にかけて「キャリアウィーク」と称して、体験を通して職業や生き方について学びます。1年生は「話を聞く・知る」職業ゼミナール、2年生は「訪問する・取材する」企業訪問、3年生は「体験する」職場体験と、全学年で系統的に取り組んでいます。

1年生 職業ゼミナール

1年生では、まず身近な家族に学ぶことからキャリア学習を始めます。家族に仕事の内容を



聞いたり、「仕事をするうえで何を大切にしているのか」など職業の価値について話し合ったりします。そして、10月31日(木)5名の保護者を講師としてお招きして職業ゼミナールを開催しました。そこで、建築士、薬剤師、医師、会社員それぞれの仕事のやりがいや苦労、仕事に対する考え方を学びました。当日は、講師先生への接待・案内や、司会進行、質疑応答など、生徒の手でゼミを運営し、活発な意見交換ができました。「『～になりたい』じゃなくて『～になる

ためにどうすればいいか』を考えよう」「仕事は人を幸せにするために」「吸収(インプット)と消化(自分なりの理解)が大切」など講師先生の生き方や数々の言葉と出会えたことは、将来の生き方を考えるヒントになったことでしょう。

2年生は10月30日(水)和歌山をベースに展開している企業10社の協力を得て、企業訪問を実施しました。班に分かれて実際に訪問し、緊張した面持ちで会社の玄関に立つ中学生を、企業の方々は来客を迎えるのと同じように丁寧に対応してくださいました。この訪問で「努力努力々々」「まずは社会貢献を求め、それが利益につながる」「前向きに考える習慣をつけておく」などたくさんの教を頂きました。各企業の仕事に懸ける熱い思い、そして、地元和歌山の企業の底力を肌で感じるとともに、仕事を通じて組織の中で人として成長していくやりがいについて学ぶことができました。

2年生 企業訪問



3年生 職場体験

3年生は、44の事業所の協力を得て、10月29日(火)から4日間、職場体験を実施しました。学校を離れ、知り合いがない慣れない場での体験は、体力的・精神的にも相当大変だったと思います。体験を通して「誰かのために一生懸命になれた」「先回りして考えられるようになった」「群れずに自立できるようになった」「根気強く続けられるようになった」など、自分の成長を実感できたようです。日常から飛び出での4日間の体験。教室では学べない「何か」をそれぞれが見つけられたことで



しょう。これからの生活に生かしてこそそのキャリア学習です。このキャリアウィークでの学びが「学ぶ原動力」になればと期待します。

